



コツを教わりながら作りました

巧 7/31、8/1、7、8 みな技を教わる

そば打ち教室

7月31日⑤、8月1日⑥、7日⑤、8日⑥に、さくら会館で、そば打ち教室を開催しました。最初に、講師の壁谷^{かべや}氏からそばを打つ流れやコツを教わりながら、実際にそば打ちする流れを見学し、次に自分たちのそばを打ちました。

2・8そばを打つためにそば粉と小麦粉を混ぜ、水回しをするところから始まり、生地を伸ばし、畳んだ後に切りました。生地作りには力に加えて、生地の状態を見ながらこねていく技が必要となり、参加者は苦戦しながらも講師のアドバイスもあり、それぞれが自分のそばを打つことができました。

町 8/1～10 内の安全を見守りました

夏の町内合同パトロール

8月1日⑥から10日⑥まで実施された夏の安全なまちづくり県民運動に合わせて、8月2日⑥に幸田防犯ネットワーク 夏の町内合同パトロールが実施されました。

夏休み中の活動のため、子どもの集まりやすいコンビニ、神社、公園などを中心に、町内防犯ボランティア団体および町の青色回転灯車両と岡崎警察署のパトカーでパトロールを行いました。

暗い中でも見回ります



パトロールに参加していただいたみなさん

映 8/2 画作りを学ぶ

蒲郡幸田小学生映画プロジェクト ワークショップ

8月2日⑥に、中央公民館で、蒲郡幸田小学生映画プロジェクトのワークショップを開催しました。実際に映画を制作しているプロのスタッフから、企画・脚本や撮影について学び、実際に撮影スタッフとしてショートムービーの撮影を行いました。

企画の元となる脚本をプロが演じるのを見た後に、自分ならこうしたい、ここを強調したい、こんなことを伝えたいとグループで話し合い、カット割りや役割決めを行いました。監督役になった人は、プロのスタッフさんにも自分がどのようにしたいのか、どのように演技して欲しいのかというイメージをディレクションしていました。



それぞれの役割をやり遂げました



きれいに繋げるために技術を磨きます



参加者の集合写真

SV

8/2

リーグの選手に技術と心構えを学ぶ

中学生バレーボール教室

8月2日㊤に、幸田中学校体育館でバレーボール 大同生命SV. LEAGUE GROWTHに参戦する「アイシンティルマーレ碧南」による中学生バレーボール教室が開催されました。

同教室には、アイシンティルマーレ碧南から選手13人が参加、町内3中学校のバレーボール部員約100名に対して、パスやレシーブ、サーブなどの基礎技術について実践的な指導をして、生徒たちは真剣に取り組みました。教室の最後には、選手によるサイン会も行われ、参加生徒との交流の時間が設けられました。

本教室は、アイシンティルマーレ碧南のメインスポンサー企業である「アイシン辰栄株式会社」の幸田工場が町内にあることを契機に実現しました。参加した生徒からは、「バレーに取り組む姿勢を学ぶことができた」「教えてもらった基礎を試合で生かしたい」など、前向きな感想を聞くことができました。

戦

8/5~16

争を思う

原爆パネル展

原爆の悲惨さ、核兵器の恐ろしさを風化させることなく平和の尊さを後世に伝えていくことを目的とした、原爆パネル展を図書館ギャラリーで開催しました。展示物の数々から伝わる悲惨さから、時には目をそらしてしまう人もいましたが、資料を通してさまざまな思いを語り合う貴重な場となりました。



資料を見つめる来場者



ステージの様子



町民総踊りの様子

夏

8/15

を彩る

こうた夏まつり

8月15日㊤に、町民会館で、こうた夏まつりを開催しました。屋外のキッチンカーエリアやあじさいホールのHappiness夏マルシェには、多くの店舗が出店し来場者で溢れ返っていました。センタープラザステージのイベントステージでは、たくさんのダンスステージや幸戦隊コウタレンジャーショーが行われ、多くの観客が詰めかけていました。

空が暗くなってくると、芝生広場の町民総踊りでは、音楽や太鼓に合わせて、皆で踊りました。最後には、手筒花火と打ち上げ花火が夜空を彩りました。